

7月15日が



記念日に

監事 本望 隆司

1. 記念日誕生までのいきさつ



「内航船の日」が誕生した。2015年12月一般社団法人日本記念日協会が7月15日を「内航船の日」と認定した。(715=ナイコウ) 今回、2016年が、正式には第一回目の「内航船の日」となる。

この記念日は、大変ユニークないきさつから誕生した。内航船員や陸上のネット仲間がSNS等を通じて交流する中で、内航船を応援しようと、「コンテナくん」を出版した絵本作家 谷川夏樹さんが発案し、同氏が日本記念日協会への申請を「全日本内航船員の会（事務局・松見準氏）」に依頼し、同会がこれを引き受け申請して認定が実現したもの。申請に必要な費用は市民によって集められた。

一般の方が「内航船の日」を発想された意義は極めて大きい。海事関係者はいつも「陸上の人

は海運に理解や関心がない」とこぼす声を聴くが、それは海事関係者が知らないだけで、「陸上の人」は大きな関心を寄せていることが証明された。

7月第三月曜日の「海の日」が何のための日なのか、

認知度は極めて低いのが現状であるが、その原因の一つは、海事関係者自身の努力と取り組み方の研究不足があるからではないか。

「内航船の日」はネットを通じて、陸上の人と船員が交流を重ね、認定にこぎつけたといういきさつに注目すべきである。「海事思想の普及」などという、上から目線の発想で、一般の方々に「海運のことをもっと勉強しろ」的な態度では理解は得られない。

2. 東京・大黒湯での記念写真展



7月15日～31日まで、「内航船の日」記念写真展を、「全日本内航船員の会」が開催。海上の船員が撮影した内航の船や風景

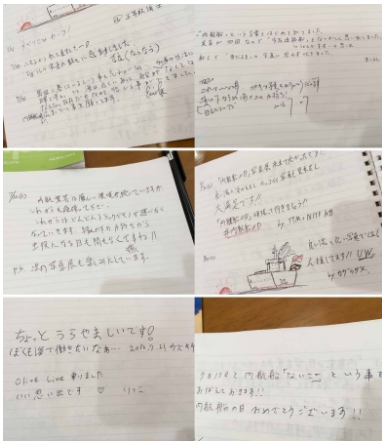
の写真20数点が展示された。筆者は7月29日取材に行った。全船協の岩田会長は7月17日にいち早く見学され、記念日当日の7月15日には共同通信社の編集長も視察されたという。

写真の展示は、入口ロビーの壁一面に内航船員の撮影した写真が展示されており、ロビーのテーブルには「船員たちにひと声！ノート」が置かれていた。





ノートを覗いてみると、「内航船という言葉を初めて聞いた」「船はなくてはならない存在だと改めて感じることができました」「内航船の日、頑張ってくださいませよう!!」「縁の下ならぬ



海の上の力持ち!」「ぼくも海ではたらきたいなあ」などのメッセージが目を引きつけた。この記念日がしっかりと「海運」とリンクしながら盛り上がっていることが分かる。

「内航船の日」は多くのメディアでも取り上げられた。共同通信の「海運水産ニュース」をはじめ、海事プレス、日刊CARGO、月刊 内航海運、内航海運新聞で記事となっている。

今回は、「海の日」の記念行事で内航のコンテナ船「なとり」の見学会が開催され、新たな「内航船の日」記念日との相乗的な盛り上がりも広がった。

3. 残念な出来事

この記念日をめぐり、善意で記念イベントを企画された海事関係会社に対し「外航関係者に挨拶もなく、勝手にイベントを企画するのは不愉快」「内航の日に反対する」「ツイッターの交信は遊びに過ぎない」と中傷と誹謗の言葉で、電話やFAXで抗議する悪意ある匿名団体が現れ、この会社の善意の企画は中止を余儀なくされた。こんなことをして、内航に理解を示す陸の人々に対し、どれほど失望を与えるか計り知れない。被害の拡大と凶悪化を防ぐため、全日本内航船員の会の事務局はすぐに警察へ被害を届け出している。

この海事関係会社による神戸、横浜の2ヶ所で企画されたイベントが実現していれば、目玉イベ

ントになったに違いないだけに残念である。

このような妨害があったが、この1社を除き、これをはねのけて「内航船の日」記念行事は整然と進められた。

(大阪では、絵本作家谷川夏樹氏の作品展が行われた)

「全日本内航船員の会」事務局は、「市民から贈ってもらった『内航船の日』を産業側で壊してしまうわけにはいかないと考え、急遽、業界関係者へ手紙やチラシを送るなどのPRを強化しました。不安を抱えたまま記念日へ突入となりましたが、当日は、第一回目の記念日を応援する圧倒的な多数の市民から寄せられた記念日を祝うコメントで、TwitterなどSNSは溢れたんです。たいへんありがたい」と言っていた。

ハッシュタグ「#内航船の日」を使って、この日のために用意した内航船の写真やイラスト、動画、音声、コメントが多くの人によって発信されており、7月15日を過ぎた今も、名残惜しむ人々によってハッシュタグを使ったツイートが続いていると言う。

<https://twitter.com/hashtag/%E5%86%85%E8%88%AA%E8%88%B9%E3%81%AE%E6%97%A5?f=tweets&vertical=default>



7月第3月曜日(18日)の「海の日」記念イベントで行われた、コンテナ船「なとり」の見学会